

(1) 本会議、委員会等の適切な運営

方向性	本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、市議会事務局として、きめ細かな調整、準備に取り組むことにより、そのサポートに努めます。
取り組み	<p>通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査に取り組む常任委員会の活動等に対するサポートを的確に行います。</p> <p>また、議会改革調査特別委員会で行った議会基本条例の運用状況の検証結果を踏まえ、議員研修の場において専門的知見を活用し、研修内容を充実させることにより議会全体の機能強化を図ります。</p> <p>平成 30 年度当初予算：807 千円</p>

**9 月末の
進捗状況
【〇】**

本会議では、5 月開会議会、6 月定例会議会、7 月緊急議会、9 月定例会議会（初日のみ）が開催されました。なお、大阪北部地震の影響により、6 月定例会議会において一般質問が中止されるとともに、議会期間が延長され、必要な議案の審議が行われました。その後、7 月緊急議会では、災害復旧・復興に必要な補正予算の審議が行われるなど、通年議会の利点を生かし、迅速な対応が行われました。

また、6 月から 9 月にかけて大阪北部地震や枚方市駅周辺再整備及び新庁舎整備などに関する全員協議会が 5 回開催されました。

付託事件の審査を行う常任委員会など、その他の会議も含め、的確なサポートを行い、円滑な会議運営を実現することができました。

(2) 多様な方法による議会活動に関する情報発信の充実

方向性	議会活動に関する情報発信については、一般質問・代表質問及び議案審議のインターネットによる生中継を開始するなど現在も多様な方法で行っていることから、これらを継続し、引き続き市民ニーズを踏まえた情報発信に努めます。
取り組み	<p>次のような情報発信方法を継続して行います。また、より効果的に情報発信を行うことができる方策を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○枚方市議会報の発行（全戸配布。ホームページにも掲載） ○点字議会報の発行（希望者に送付） ○声の議会報の発行（希望者に送付。ホームページにも掲載） ○一般質問・代表質問及び議案審議の生中継及び録画映像配信（ユーチューブの活用） ○会議録の発行（市立図書館等に配架）

	<p>○インターネット上における会議録検索システムの運用</p> <p>○ホームページによる情報発信（会議日程、審議結果等）など</p> <p>≪目標値≫</p> <p>会議録検索システムの年間アクセス数：12,000件</p>
	平成30年度当初予算：16,499千円

<p>9月末の進捗状況【○】</p>	<p>枚方市議会報を3回発行するとともに、その都度、同内容の点字・声の議会報を発行しました（5月、7月、9月）。なお、6月定例月議会の内容を掲載する予定としていた8月号については、議会期間が延長されたことにより、9月号に延期の上、発行しました。また、平成29年9月から開始した一般質問等のインターネットによる生中継を、継続して実施し、市民ニーズを踏まえた情報発信に引き続き努めました。</p>
---------------------------	--

(3) 災害発生時における様々な通信手段の確保と緊急連絡訓練等の実施	
方向性	<p>地震等の災害が発生した際、枚方市災害対策本部と連携し、災害対策活動を支援するとともに、臨時的に開催する「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」において迅速かつ円滑に対応できるよう、災害訓練の実施や想定議案の調査・研究に努め、支援活動体制の強化を図ります。</p>
取り組み	<p>大規模災害が発生した際の通信機器がつながりにくい状況に備えるため、災害発生時にも使用可能な「災害伝言ダイヤル」やインターネットを利用した「災害用伝言板」を用いた災害訓練を定期的実施するとともに、事務局職員の災害発生時の支援活動体制の強化を図ります。</p> <p>また、通年議会の実施により、議会の判断で「緊急議会」を開催することが可能であるため、災害時に迅速かつ円滑な対策を検討できるよう、災害時の「緊急議会」の運営について、調査・研究を進めます。</p>

<p>9月末の進捗状況【○】</p>	<p>大阪北部地震発生により、市が災害対策本部を立ち上げたことに伴い、市議会でも「市議会災害対策連絡会議」が4回開催されました。各議員からの災害情報を収集し、災害対策本部に提供するとともに、災害対策本部からの被災状況等、災害情報を各議員に提供するなど、市と協力体制がとられました。また、災害復旧・復興に必要な補正予算の審議など、迅速かつ円滑な災害対策を行うため、7月には「緊急議会」が開催されました。</p>
---------------------------	--

(4) 政務活動費の適正な運用

方向性	市民の負託にこたえるため、政務活動費のより一層の適正な執行と、さらなる使途の透明性を図ります。
取り組み	情報化の進展や流通形態の変化、また、市民ニーズの多様化など、様々な社会情勢の変化に対応するため、本市議会で作成した「政務活動費マニュアル」も活用し、引き続き、政務活動費の適正な運用に努めるとともに、さらなる使途の透明性を図ります。

9月末の 進捗状況 【○】

平成29年度に係る政務活動費の収支概要及び議員単位の収支報告書を市議会ホームページに掲載しました(7月)。今後も引き続き、最新の判例などの情報把握に努めるとともに、政務活動費マニュアルを活用し、さらなる政務活動費の適正な執行及び使途の透明性を図ります。

(5) 他の市議会との広域的な連携

方向性	他の市議会と広域的な連携を図り、様々な情報を共有することにより、そのノウハウを本市議会の運営に活用します。
取り組み	全国・中核市・近畿・大阪府・河北の各市議会議長会などの各種団体が実施する事業等へ積極的に参加するとともに、国の動向や他市の事例に注視し、適正な情報把握に努め、本市議会の運営に活用します。

9月末の 進捗状況 【○】

河北7市の市議会事務局で構成される第42回河北事務担当者会議が守口市で開催され(7月)、他市事例などの情報収集や共通的な諸問題の協議を行いました。今後も引き続き積極的な情報把握に努め、本市議会の運営に活用します。